

茨城大学
Hitachi University


工学部分館 図書館ガイダンス


~ Welcome to Hitachi Branch Library ~


2007年 工学部分館・図書館係

茨城大学
Hitachi University

ガイダンスの流れ

全体説明 

分館案内 

検索演習 

計90分

1

茨城大学
Hitachi University

全体説明の内容

1. 大学生活と図書館
2. 図書館のサービス
3. 資料の探し方
4. 利用上のマナー

2

茨城大学
Hitachi University

1. 大学生活と図書館

2007年 茨城大学図書館・学術情報係

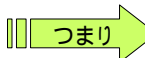
茨城大学
Hitachi University

いつ・どんな時 図書館を使う？

勉強するとき

調べものをするとき

- * 大学での勉強 高校までの勉強
- * レポートの課題が増える！

 **つまり** 主体的に 情報を集めて、
考えて書く機会が増える

4

茨城大学
Hitachi University

レポートの作成手順

情報を集める
テーマに関する

→

集めた情報をもとに
執筆テーマを決める

→

執筆テーマに関する
文献を数本集める

→

集めた文献を読み
レポートを作成する

参考文献: 小笠原喜康 『大学生のためのレポート・論文術』
2002, 講談社現代新書, p.78

5

サーチエンジンで全部の情報が手に入るか？

- サーチエンジンでいろいろな情報を調べられるが、使い方をよく知っているだろうか？
- サーチエンジンで自分のほしい論文を手に入れるだろうか？
- サーチエンジンで自分のテーマの論文を探して無かったので、探すのをやめたが……？

6

WHO IS HE? 彼の論文は？

Albert Fertの
写真

http://en.wikipedia.org/wiki/Albert_Fert

7

情報の海？

- サーチエンジンで検索できる情報と検索できない情報がある。サーチエンジンの検索対象はWEBコンテンツであり、全部の情報ではない。
- ネット上にない重要な文献(紙の)情報がある。情報の存在形式はハイブリッド(印刷文献 + ネット)。
- 情報そのもの(一次情報)と見出しの情報(二次情報)がある。

8

メディアの特性を知ろう

メディア	形態	検索	新しさ	信頼性
(印刷)文献	・新聞 ・雑誌 ・単行本(図書) ・その他(会議録、学会要覧、学位論文、報告書、テクニカルレポート)	メディアによって検索方法が違う。資料類物は図書館にストックされていることが多いが、最近のものにはインターネットで行えるようになってきている。	メディアによって新しさが異なるので、使い分けが必要がある。	出版という行為によって、一定の審査スクリーニングが行われ、情報の信頼性を保っていると考えられる。ブランドや信頼性が異なると、
インターネット	・WEBコンテンツ ・データベース ・電子ジャーナル ・特許情報	検索は盲検をあまり必要とせず、容易と見えるが、サーチエンジンとデータベースの検索を分けて行う必要がある。サーチエンジンだけでなく主要なリンク先から関連するデータベースにアクセスする。	新しさには定評があるが、古い情報も混じっているので注意が必要。	インターネットで学術的に一番問題になるのはこの点。公的な情報がどこまで提供されているのか？によって大きく信頼性が変わるので、取捨には注意が必要。どれも異なれば同じで、ブランドや信頼性が分かりにくい。

9

文献の特性を知ろう: 図書と雑誌

- 図書(単行本) = 普通の本。情報の鮮度では落ちる。
- 雑誌(定期刊行物) = 巻号を追って刊行されるもの。図書より情報鮮度は高い。1つの号に複数の記事(論文)がある。記事の検索と所蔵の検索は別に行う。

10

2. 図書館のサービス

2007年

茨城大学図書館・学術情報係

開館時間		
授業がある期間	平日	8:50 ~ 20:50
	土日	10:20 ~ 18:50
	祝日	休館
休業期間	平日	8:50 ~ 17:00
	土日・祝日	休館

* 臨時休館あり (館内の掲示・HPで通知)

所蔵資料(工学部分館)	
図書	約16万冊
雑誌	約3,300 タイトル
視聴覚資料 (ビデオ・DVD・CD-ROMなど)	約800点
電子ジャーナル	約4,500 タイトル

他にも雑誌記事のデータベースなどがある

電子ジャーナルを使う Step.1

図書館HPを開く

電子ジャーナル一覧が開く

電子ジャーナル Electronic Journals

Reverse by title: A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z D9 ALL

Find e-journals by title or ISSN

Title: Jwks twah

ISSN: e.g. 01675273

Results per page: 20

電子ジャーナル利用上の注意

Users wanting to access the electronic journals must comply with the following:

- 印刷・複製・転載・改題・再配布等は禁止されています。
- 大量のデータダウンロードは禁止されています。
- 学内ネットワーク内での印刷・複製・転載・改題・再配布等は禁止されています。
- 学内ネットワーク内での印刷・複製・転載・改題・再配布等は禁止されています。

電子ジャーナルを使う Step.2

電子ジャーナルのページ

論文本文が表示される

論文を選ぶ

貸出

学年	貸出冊数	貸出期間	貸出期間の更新
1~3年生	5冊	14日間	1回
4年生	10冊	28日間	
大学院生	15冊	28日間	

* 長期休業期間は、貸出期間が延長

視聴覚資料 全学年とも 5点7日 延長なし

雑誌 新聞 館内でご覧ください

注意

返却が遅れた期間 = 貸出停止になる!

webリクエストサービスを利用しよう
(返却期限が確認できます!)

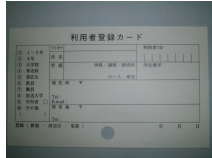
更新手続きをしよう

ブックポストを使おう

また貸しをしない

分館で再度利用登録が必要!

「利用者登録カード」に記入し、
学生証と一緒に提出してください。



読みたい本がないとき

- 他大学から取り寄せ
 - ILL (Inter-Library Loan) サービス
 - * 送料・コピー料金は自己負担
 - * 本・農分館の本は、取り寄せ無料
- リクエスト・サービス
 - * 申込理由を書いて 購入依頼

その他のサービス

- * **講習会**：資料の探し方、
データベースの使い方など
- * **レファレンス・サービス**：
探している資料がないときなど
職員に相談を!



3. 資料の探し方

図書館のHPを活用しよう

図書館HPのここが便利!

- 情報が満載
 - * 開館カレンダー、利用案内
 - * **蔵書検索**
- リンクが充実
 - * 県内公共図書館の蔵書検索
 - * 全国の大学図書館の蔵書検索

etc...

蔵書検索データベース OPAC

OPAC (オーパック) とは

- * **Online Public Access Catalog** の略
- * 資料のある・なし (= 所蔵状況) や、どこにあるか (= 配架場所) を検索できる
- * 自宅のパソコン・携帯からも使える

24

OPACの使い方 Step.1

図書館HPを開く

蔵書検索を
クリック

OPAC画面

キーワードを
入力し、
検索開始を
クリック

25

OPACの使い方 Step.2

検索結果が表示される

タイトルを
クリック

詳細画面が表示される

26

OPACの使い方 Step.3

所蔵情報

所在	図書ID	請求記号	OPAC注記
本館一開架	118609991	519How	
貸出状況	貸出可		

「所在」 =
どこにあるか

「請求記号」 =
ラベルの番号

519
How

この2つを手がかりに、図書を探しに行く

27

OPACの注意点

古い資料は探せない場合もあり

- * 工分書庫を現物確認のこと

資料の内容は調べられない

所蔵の「ある・なし」は分かる

- × どんな記事が、どの雑誌に載っているかは分からない

画像出典: 『標準案内用図記号』(交通エコロジー・モビリティ財団)

28

館内を歩いて探す

本はジャンルごとに並んでいる

ラベル1段目の数字は、ジャンルを意味している

5 **

*

00	総記	50	技術・工学
10	哲学	60	産業
20	歴史	70	芸術・スポーツ
30	社会科学	80	言語
40	自然科学	90	文学

29

4. 利用上のマナー

快適な環境を維持しよう！

利用上のマナー



静かに
Quiet please



携帯電話使用禁止
Do not use mobile phones



飲食禁止
Do not eat or drink here



禁煙
No smoking

画像出典：「標準案内用図記号」(交通エコロジー・モビリティ財団)

著作権を守ろう

* 図書館のコピー機：「図書館資料」限定
複写申込書を記入

* コピー可能な範囲

図書	全ページの半分以下
雑誌	バックナンバー(最新号は×)
新聞	前日 以前の号

END

～お待ちしております！～